

歴史に学び共生 文化開く座談会

あす、松江・小松電機産業
水の偉人覚醒顕彰祭も

小松電機産業・人間自然
科学研究所（松江市乃木福
富町）は8日、「対立から

共生の文化へ」を総合テ
マに、歴史に学び共生の文
化を開くための座談会と、
健康寿命を延ばして生きる
ための全国世界水の偉人覚
醒顕彰祭を開く。

座談会は午前9時半～午
後0時半、同社ホールで。
参加無料。定員約200人。

初代総理大臣の伊藤博文
と朝鮮独立運動家で伊藤を
暗殺して処刑された安重
根、オーストリアの小説家
で女性として初めてノーベ
ル平和賞を受賞したズット

松江が生んだ水の偉人・
周藤彌兵衛の像



ナ、松江市八雲町出身で
江戸時代中期に水路の開
削、新田開発に功労のあっ
た周藤彌兵衛にスポットを
当てる。

龍谷大の平田厚志名誉教
授、李洙任教授、広島県日
韓親善協会の玉木実常任顧
問、地域自立総合研究所（横
浜市）の吉田正博所長、広
島オーストリア協会の田中
勝邦運営委員らが意見交換
する。

水の偉人覚醒顕彰祭は午
後6時から、同市袖師町の
宍道湖岸の袖師地藏前で。
住職による護摩祈禱の後、
全世界の水の偉人の功績
が記された灯籠170基を
ともし、火の発祥の神社・
熊野大社（同市八雲町）の
ある松江から「水と火と健
康寿命の聖地」を全国、世
界に発信する。

小松昭夫代表は「対立は
新しい文化をつくるエネル
ギー。共感から統合発展で
きる」と話している。